

GELCHOPの



レッツD.I.Y.

月イチでD.I.Y.なものづくり。

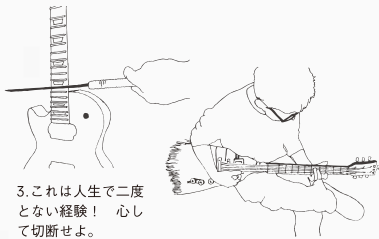
掃いてから弾くか、
弾いてから掃くか。

Product_name

Broom Guitar (ホーキギター)

Material

- ・和箒 1本
- ・エレキギター (中古) 1本



3.これは人生で二度とない経験! 心して切断せよ。

6.ホウキでも意外と様になるもんですね。クール!

How to make

- 1 箒は、サイズ感、草のボリュームがキモ。ギターは、財布と相談でお好みのものを。今回は大掃除を盛り上げるジミー・ペイジにビート・タウンゼントのイメージでレスポールタイプに決定。
- 2 箒としての機能はキープしつつ、ギターにするのが大前提。ギターのセッティングをしっかりと観察し、できる限り位置関係のトレースを心掛けること。
- 3 レイアウトのイメージができたら各部の解体とネックの切断を開始。毎度のことだけど、完成された美しいカタチのものをカットするときには変な汗が出る。落ち着いて美しくカットをすること。
- 4 ギターのパーツを箒にセットアップしていこう。箒の形状も美しく見せたいので、柄の付け根を利用して背面にスチールプレートを設置する。
- 5 取り付けしたプレートをベースにして、ネックはプレート固定金具のクランク部分を利用する。ピックアップ、ブリッジ、コントロールスイッチなどはプレートから長めのステーでエクステンションし、箒を貫通させて表側に。一番の難関は弦と各パーツの水平関係。ボルト・ナットで高さを微調整できるようにしておくとい。今回のバージョンはスペースがないので、ピックアップはシンプルに1か所だけ。
- 6 各部配線をつなぎ、弦を張り、アンプにつなぎ、体中に電気が走る痺れる音が出たら大成功。ギターに熱中し過ぎて掃除をするのを忘れないように。



ブルームギター ギタリストって多分死ぬまでずっと続く憧れの姿。ギター1本で観衆を熱狂させ、後にはカタチを残さないなんて最高にかっこいいわけで、そりゃ若い時は“いつかはオレも!”と何度となく挑戦したけど、まあダメなのはダメ。カスターネット以上タテ笛未満の実力では到底届く代物ではなかった。かっこいいギター欲しいな。でもでも友達に“弾けるの?”とか聞かれたらどうしよ、なんてシティボーイのために、モヤモヤ気分がわかる我々が、きちんと弾ける例のやつ、ばっちしカタチにしましたよ。これなら下手クソだって冗談でごまかせるし、大掃除にだって使えるしね。ってことで、まずは「Dust my broom」を年越しでこっそり猛特訓、すっかな。

はみだしのDIY

いろんな改造をやってきたものの、考えてみると楽器づくりは初挑戦。知識ないしなんて思っていたギターだけど、バラしてみれば実は簡単な構造なわけで、ちょっと調べただけでも、おかしなギターも色々ある。スコップギター、マネキンギター、マシンガンギターにサーフボードギター……ボディからネックが生えていて弦が張ればギターだと考えれば、何でもできそうな気になってくる。まな板ボディで包丁をピックにすれば千切りギター、ヌイグルミボディをやさしく撫でるように弾けばファンシーギター、ちと待てよ、スニーカーギターをマッチで弾くってのはどうだ……なんてくだらないことを考えているうちに今年も終わってしまうのね……。

ゲルチョコップ | D.I.Y.造形グループ。モリカワリョウタ、オザワテツヤ、タカハシリョウヘイがメンバー。スキーシーズン到来。今季は何回滑れるかな。